

小学生高学年の部



壁新聞



作文



絵画

壁新聞

小学生高学年の部

優秀賞



渡良瀬遊水地野鳥新聞

★渡良瀬遊水地の自然について

★渡良瀬遊水地の成り立ち

★一年を通して見られる野鳥

冬に見られる野鳥

夏に見られる野鳥

一年を通して見られる野鳥

文化財保護法に基づく貴重種

種保存法に基づく貴重種

あとがき、調べてわかった事

『渡良瀬遊水地野鳥新聞』

加納 豆

〈埼玉県加須市立原道小学校5年〉

壁新聞

小学生高学年の部

優秀賞



ふるりの自然守り隊新聞

下生井小学校5年1組

野鳥観察会

五月九日全校生徒で植物観察会

掘削はなぜするの？

日本のラムサール登録湿地の取り組みを調べたよ！

セタカワダチソウ除去作業大作戦

『ふるりの自然守り隊新聞』

小林 未奈、坂倉 愛萌、瀬戸 煌喜、中島 水月、野中 さつき

〈栃木県小山市立下生井小学校5年〉



Our Friend Tone River ~大好き! 利根川~

利根川のほとりにある村小の生活は、川を通して、利根川と深い関わりがあります。利根川はいつも私たちの心と体の成長をやさしく見守ってくれています。

羽生市立村小 小学6年
落合 翔飛、川田 優衣、波井 彩加、曾我尾 葵、萩原 水葵
（埼玉県羽生市立村小 小学6年）

なかよしハイキング
毎年春に全校で利根川のサイクリングロードを歩いて、スライダースポーツ公園へハイキングに出かけます。サイクリングロードは車道と違って、アスファルトではなく、土や砂でできているので、利根川の川面がキラキラと輝いて見えます。利根川をくぐり、春の風を感じながら、歩くたびに、川は「わーっ」と流れています。

ボート体験
4・5年生が、学校近くの利根川、敷島から加須まで、ボートに乗って利根川を下ります。みんな、心を一つにして、約10kmの距離を1時間以上かけて進みます。運がよければ、ハクレンのジャングルに出会うことができます。利根川に育まれた生命のすばらしさを、実際に感じることで、心と体の成長を促すことができます。

校内持久走大会
11月の利根川サイクリングロードで、全校で持久走大会を行います。みんな、心を一つにして、約10kmの距離を1時間以上かけて進みます。運がよければ、ハクレンのジャングルに出会うことができます。利根川に育まれた生命のすばらしさを、実際に感じることで、心と体の成長を促すことができます。

サケの卵が育つ
冬休みの前、家に帰って、卵から育つサケの卵を利根川に放流します。また、2〜3cmの大きさのサケの卵を、利根川に放流します。卵は、利根川の川面に、キラキラと輝いて見えます。利根川をくぐり、春の風を感じながら、歩くたびに、川は「わーっ」と流れています。

いちめんの菜の花
私は5年生、山崎の詩「菜の花」を学んだ。この詩では、菜の花の成長が、春の訪れを告げる。菜の花は、利根川の川面に、キラキラと輝いて見えます。利根川をくぐり、春の風を感じながら、歩くたびに、川は「わーっ」と流れています。

おいしいお米の源
私たちの住む村小地区には、お米の田んぼがあります。お米は、利根川の川水で育ちます。利根川は、お米の源です。お米は、私たちの食生活に欠かせません。利根川は、私たちの生活に欠かせません。

Dear. Tone River
利根川は、私たちの生活に欠かせません。利根川は、私たちの心と体の成長を促すことができます。利根川は、私たちの生活に欠かせません。利根川は、私たちの心と体の成長を促すことができます。

『Our Friend Tone River ~大好き! 利根川~』
落合 翔飛、川田 優衣、波井 彩加、曾我尾 葵、萩原 水葵
（埼玉県羽生市立村小 小学6年）



カスリーン台風について

原道小学校 5年 野原 咲花

カスリーン台風の概要
昭和23年9月2日、南太平洋に発生したカスリーン台風は、次第に本州へ上陸し、9月15日に原道小学校の周辺に上陸し、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風発生時、日本列島には秋の気配が漂っていた。全国的に台風が来ると、日本列島は、カスリーン台風が来る。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。

カスリーン台風、どんな台風?
カスリーン台風は、9月15日に、原道小学校の周辺に上陸し、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。

まとめ
カスリーン台風は、9月15日に、原道小学校の周辺に上陸し、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。

破傷風とは
破傷風とは、傷口から、破傷風菌が侵入し、発症する病気です。破傷風菌は、土壌中に多く存在します。破傷風菌は、傷口から侵入し、発症する病気です。破傷風菌は、土壌中に多く存在します。破傷風菌は、傷口から侵入し、発症する病気です。

『カスリーン台風について』
野原 咲花
（埼玉県原道小学校 5年）



カスリーン台風から70年!

利根川の新聞

カスリーン台風は、1948年9月15日に、原道小学校の周辺に上陸し、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。

カスリーン台風は、1948年9月15日に、原道小学校の周辺に上陸し、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。

カスリーン台風は、1948年9月15日に、原道小学校の周辺に上陸し、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。

カスリーン台風は、1948年9月15日に、原道小学校の周辺に上陸し、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。

『利根川の新聞 カスリーン台風から70年』
福田 圭吾
（埼玉県原道小学校 5年）



あさひ新聞

カスリーン台風から70年

カスリーン台風は、1948年9月15日に、原道小学校の周辺に上陸し、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。

カスリーン台風は、1948年9月15日に、原道小学校の周辺に上陸し、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。

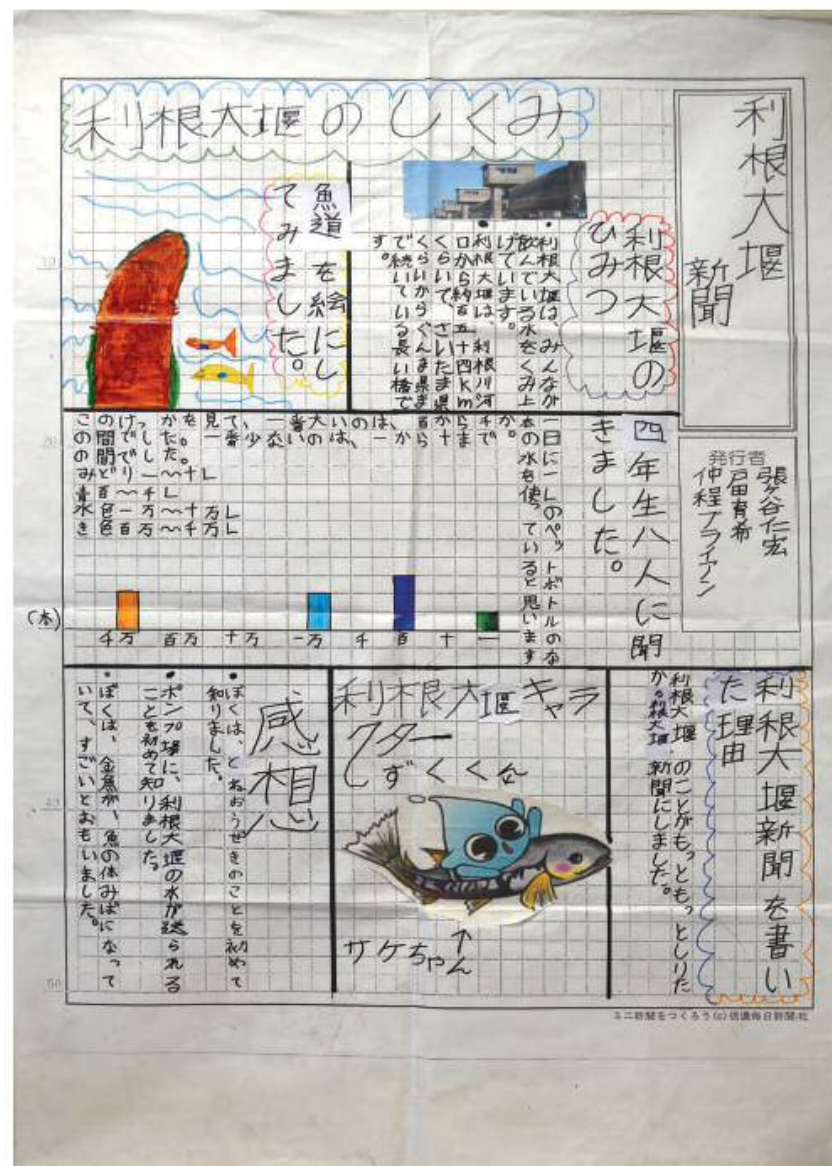
カスリーン台風は、1948年9月15日に、原道小学校の周辺に上陸し、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。

カスリーン台風は、1948年9月15日に、原道小学校の周辺に上陸し、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。カスリーン台風は、日本列島に、甚大な被害をもたらした。

『あさひ新聞』
小川 朝日
（埼玉県原道小学校 4年）



『利根大堰新聞』

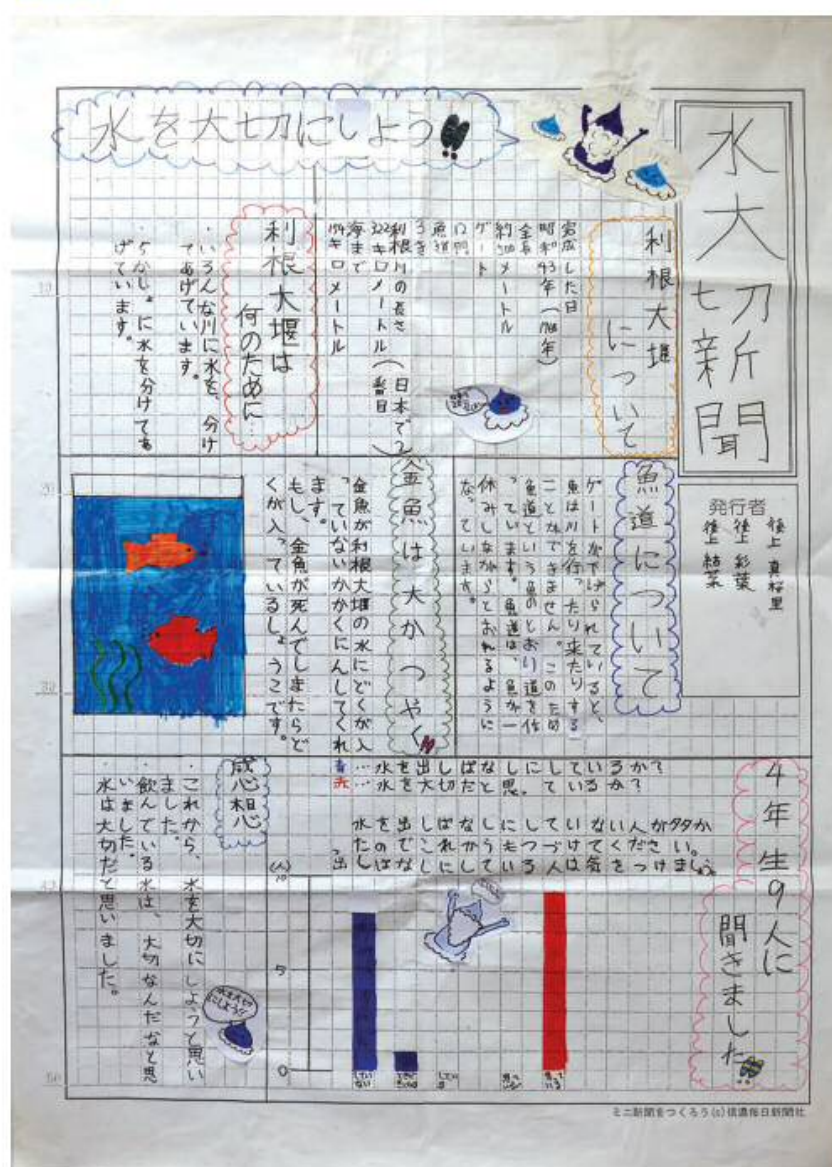
大島 奈暉、松田 峻一
(埼玉県幸手市立八代小学校4年)

『利根大堰新聞』

張ヶ谷 仁宏、戸田 育希、仲程 ブライアン
(埼玉県幸手市立八代小学校4年)

『未来へつづく』

加納 琉聖 (埼玉県加須市立原道小学校5年)



『水大切新聞』

後上 彩葉、後上 真桜里、後上 結菜
(埼玉県幸手市立八代小学校4年)

[illegible][illegible]

『初めての川遊び』

都筑 美伶 (埼玉県熊谷市立長井小学校5年)

利根川について	五年	円崎	ちひろ
利根川の始まりは、群馬県の山おくにある大水上山からの一滴です。この一滴がやがて利根川にたどり着き片品川、吾妻川などの支流をあつめて、大きな川の流れになります。利根川の名前の由来は、昔からついでいて万葉集という和歌の本ができたころには、利根川という名前がついていた。一万、利根川の別名でもある「坂東太郎」については、あしがらとうげとうすいとうげを境として、それより東の諸国をろうしようとする「坂東」をながれる日本最大の河川であることからなづけられた。	利根川は、大水上山を水源として、関東地方を北から東へ流れ、太平洋に注ぐ河川。河川法に基づく政令により昭和四十年に指定された一級水系である利根川水系の本流である一級河川。河川のきばとして、日本最大級で		

東京都を始めとする首都けんの水源として、日本国内の経済活動上で、重要な役割を果たしている日本を代表とする河川の一つである。昭和三十年には深刻な日照りが続いたため東京オリンピック直前の昭和三十九年には水不足がピークに。真夏の首都は、東京砂漠といわれるほどのパニック状態になった。この水不足を解消するために、水量の豊かな利根川の水を首都けんに送ることが国の方針として決定された。利根川から東京へ送るための水路が作られ、きん急通水を開始して首都けんを、水不足から救いました。

水は、私たちの生活に欠すことのできない大切な資源です。水を大切につかうことは、大事なことなので、私も水を大切に使用したいと思いました。

『利根川について』

圓崎 ちひろ（茨城県坂東市立七郷小学校5年）



川はいろいろ	秋永 其衣	〇私の近くの川は、中川です。でも、たまに 遊びに行く川は、あら川です。あら川は、つ り舟できて、お魚がたくさんつれます。 でも、あら川は、少し、きたなくて、とても にこ、ています。だから、水あそびができません。 昔は、できたそうです。昔と今は、かわ り、てしまふんですね。川は、花があたりと とてもきれいに見えます。でも、光がいなく なるときは、たなく思えます。でも、川は、きた なくなると、昔は、とても、水としてつか んでいてやくだた。ていたそうだし、水あそ びもたくさんできたそうです。川は、たのし むあそびをする時はあるし、でも、この川と、かみ る時、外あります。よく、ニコニコしてや、てい て、川が、とてもおもしろくて、家から水でうも 水で、しまったり、人魚、死んでしまったり、 とても、こわいです。いつ、川が、あはれしま
--------	-------	---

うがわがらないのかこわいです。人にたくさ
んこわいとおもわれていたら、川はきこ
こ思、ていふと思ひます。うぐめんね、ほ
くは、人をたぐひなわにあわせたかと思ひ
うてないんだよ。台風や強い物にまはすは、ア
ラガてしまふんだよ、と。私は、思ひます。
だから、川はあぶないけれど、川をいりぬ
たり、あらいことも、川にまけてゆわたいよ
うにする。そういうふうには、みんなに思、て
ほしいです。もし、川のことと死んでしま
う人は、私がわがしてゐるやもしれません。
でも、川は、しよふ成ない、しよふ成ない
と思、てあけてください。川は、わでとじやな
いと思ひます。川は、川でたくさん遊ばせて
くれます。だから、ゆるしてあげてください
もし、また、川がびてもくすしみになかれて
しまつたら、あやてしまふかしれません。
でも、あせんないで、川にながさ水ないよう
にひなんしてください。肝も、たくさんいり
こを、してくわていふから、せぬないように

『川はいろいろ』

秋永 真衣 (東京都足立区立長門小学校5年)

生き物のようが川	栗橋小学校 五年一組 小林 珠夏
私は、小学校五年生と四年生の夏休みに、群馬県神流町の川に遊びに行きました。	
四年生の時は天気がよく、川の水もきれいで、小さい魚が泳いでいるのが見えたり、岩の上から飛び込んだりして楽しく遊びました。しかし、五年生の時は、悪い天気の日が続いて、川の流れが強く水もにぎやういて、四年生の時ほど遊べませんでした。同じ川の同じ場所なのに、天気などによて全然ちがう川のようにでした。	
私の住む久喜市栗橋でも、利根川という大きな川が流れていて、天気や季節によて、水の量や流れの速さがいつも変化しています。まるで、川は、生き物のようだなと思います。そこで、昔の人たちもそう思ってたから、川に名前をつけたり、川の神様をまつるほどつなごを作り、生活をききたのかあと思います。	

現代では、川の災害を防ぐ工事などが行われて、川を生き物として考えることは、ほんではないと思います。

でも、大雨などで水があふれたり、逆に水が少なくなったりして、たりすることで、私たちの生活に、大きなえいさ^{影響}が出ることがあります。

川と、私たちは、一緒に生活をする生き物の仲間のように感じます。

埼玉県は、海のない県ですが大きな川が何本も流れていて、その川を利用して、わたしたちはいそいそ生活ができています。

このかいてきな生活が続くように、川にゴミを捨てないで、植物や動物を大切にしていっつまでも、安全で楽しい川との生活を続けたいと思います。

『生き物のような川』

小林 琉夏 (埼玉県久喜市立栗橋小学校5年)



利根川と油の歴史
五年 滝井 大輝

飯東太郎のあいしゅうで親しまれている利根川は、長さ三百二十キロメートルで日本で二番目に長い川です。その源流は、奥利根の新がた奥津がらなり、十萬の鈴子で太平洋へと注いでいます。かつては、日本一内陸水路の盛んな川でした。現在は、鉄道が通る地とつながり、通る船はなくなりました。

ところで、私の祖父は、十萬の鈴子で、おしゅう油会社で仕事をしています。野田やにはおしゅう油会社がたくさんあります。それは、利根川と関係があるとお父さんとお母さんから聞いたので調べてみました。

十萬の鈴子の野田や鈴子やでしゅう油が時産品とな、たのは、利根川に接し、物資の輸送に便利だ。だからだそう。江戸時代は、しゅう油作りに使った物資などの原料を運ぶのに、出来上がった品物を運ぶのにも、船で運ぶことしか出来なかった。例えば、

野田で作られたしゅう油は、江戸まで船で約八時間かか。たそう。しかし、明治三十年代から、利根川沿いの都市が鉄道で短ばれ、船による輸送はだいに鉄道に、さらにトラックへと変わ。ていきます。

こうして、江戸の人々の暮らしは、その製造の中心が野田や鈴子やで栄えてい。たそう。

利根川の別の名が、あはれ川として利根川沿いの町に何度も大きな被害をあたえていました。この水のかにその流れを調整に変えている川でもあるそう。しかし、関東の人々の大切な水源である利根川に、秋は、今もたくさんのお金をかけています。私はこのことを調べて、関東の人々の大切な水源である利根川を汚さないで。ていかなければならないと思いました。

『川遊びで学んだこと』

松本 虎 (茨城県五霞町立五霞小学校5年)

『利根川とおしゅう油の歴史』

滝井 大輝 (茨城県飯東市立七郷小学校5年)



利根川と福川
五年一組 石原 英英

はくのおじいちゃんの家となりには福川があります。おじいちゃんか「福川は、利根川に続いてるんだよ。」と教えてくれました。おじいちゃんか子どものころは、福川で泳いで遊んでいたそう。はくはそれを聞いてビックリしたけど、ちよ、とうやましかうた。はくは、今もその川で魚釣りやザリカとりをします。フナや鯉がつかれます。コイやカメもいます。

はくは、野馬場大田市にピアノを習いに行っています。週に一度は利根川を通ります。橋わたるまで車の中から川をながめるのが楽しみです。雨がふ、た後が風が強い日にはお母さんと、水の量が増えたり。ばい雨かふ。たんだね。

今日は、風が強いから川が波うつ。ているよと話しながらかうたります。風が強い日は

二年前の大雨
栃本 立子 塚本 彩楓

志保はしません。二年前の九月に私の住んでいる所でも大雨が降りました。道路は川のよつにな。ていて、どこが道路だかわからなくな。てしまつた。大雨でした。私の家のとなりも川なのであふれてしまわな。かへ配でした。私は、家が流されてしまわな。かとても不安で怖さ。ててもた。まらな。かたりにな。りました。

テレビを見ていても、家のやに水が入。たり、家が流されて。車も流されて。しま。まで住んでいた家もな。かあ。ても形もなくな。てい。る。もの。がつ。て。い。る。のを見てます。う。怖。く。な。て。しま。しました。早く雨がやんでく。れない。か。祈。る。ば。かり。です。

翌日、雨はや。み。したが、色。な。所。で。住。む。家。も。な。く。な。り。ひ。な。な。所。生。活。を。あ。て。て。い。る。人。も。い。る。事。を。知。り。ま。し。た。

自然災害とはい。え。こ。も。怖。い。思。い。ま。し。た。

『利根川と福川』

石原 英英 (埼玉県熊谷市立栗沼南小学校5年)

『二年前の大雨』

塚本 彩楓 (栃木県栃木市立千塚小学校5年)

[illegible]

ぼくは、浅い場所でも分岐はしないけれど、
 くて流れの早い場所もありです。
 最近、大雨に降ると、川のはんらんなどの
 ニュースを見ると川は、こわい人だなと思
 いまふ。
 いつもは、どうめいなのに、茶戸くに三つて
 すずい勢いで流れます。
 川は、時にはこわいけれど水にもなるので、
 とても大切です。
 こまから、とれりなりで辨びたいので、大
 切にしていきます。

吉澤 清輝（埼玉県久喜市立栗橋小学校5年）



利根川水系連合・総合水防連団	栗橋小学校	五年	福田	主事
----------------	-------	----	----	----

ぼくは、5月に利根川水系の水防訓練に
 きました。消防組合と県警と防災航空隊と
 衛隊と国土交通省と赤十字と合同演習水防
 練です。地元の水防団加川の欠かいたる前
 土のうを積んで、欠かいたを防ぐ訓練から始
 ります。欠かいたを防ぐ事が、出さず難
 ができます。これから利根川での訓練が始ま
 います。

県警ヘリコプターがうの空をこい察で漂は
 者の救出をし、県防災航空隊ヘリコプター
 こ立民家からの住民の救出し、自衛隊がバ
 ヲの地とこい察、ヘリコプターからビルと
 者救出、ボートによるこ立地域住民の救出
 れ、国土交通省のヘリコプター空をこい察
 あり、調査飛行があり、排水ボンプ車によ
 ハンラン水排除で終りました。川の訓練は
 初めてた。たので、ヘリの音、バイクの音、
 消防車や救急車の音、モーターボートの音、

望から、さう川の中からのま縛で、高いはん
いの場所で行、ていてすこか。たびす。炊き
出しの、カレーも美味しか。たびす。車で地震
の体験と、地震の体験、豪雨、ジ、ベルウーバ
ドローンの操縦、う体験と、災害に備えての川
の訓練を見ました。

ぼくは、豪雨がくるとあんなふうには、な。
てし、まうなとて、学えたこともなか。たのび
あんなふうにな。るとうううううううううう
はいいかなどが、とてもわかりやすくしうか
いさきていたので行、てよが、たびす。

おあり

福田 圭吾 (埼玉県久喜市立栗橋小学校5年)

[illegible]

ねんへ流れていきます。わたし達の近くの中川も海へとつながっているんだなとふしぎに思いました。
 近くの中川はともよびついています。きれいな川にするためにわたし達がぼんの少しずつでも気を付ければきれいな川になるそうです。例えば……
 油がついたお皿はふきとてから洗うこと。シンナーやせんぞいは使わずに洗い落とすこと。ゴミなどはせたい川にすてないこと。
 などがあります。
 みんなが少しずつ気をつけることで中川もきれいになると思っています。

花川 真央（東京都足立区立長門小学校4年）



ぼくの川に關する思い出は三つあります。
一つは、父さんと江戸川にふりに行つたこと
です。ふりには二回行きました。一回目は何
もつれなくて残念でした。早朝に行きました
がつれませんでした。二回目は夕方に寄ぎま
した。リベンジの時です。しかし、三十分、
一時間とたつて何もつれませんでした。結局
また何もつれませんでした。その時です。岸
の近くを約一メートルのソウギョが泳いでい
ました。でも父さんは、

「こんな大きな魚のをつ、たう、つりやあがこ
われちやう。」
と言つてつりませんでした。つれなかつたけ
ど江戸川には一メートルぐらいの大きな魚
がいることが分かつてわくわくしました。こ
れがふりの思い出です。

もう一つは、去年、雨がふらなくてダムに水
がたまらなくて、利根川の水がとて少なくな
つてしまつたことです。今年の夏はとて暑
いのでまだ水がなくなりそうです。この前

利根川を橋の上から車で通った時に見たら、特に河川じぎの近くは川床が見えていましたとてもびびくりしました。まだ河岸近くには水がたまっていないのだなあと思いましたがこんなに暑い日が続くと、水不足になつてしまふのではないかと心配です。

三つ目は、おとしに起きた関東東北ごう雨のことです。たつた一時間でも、ものすごい雨量でした。あつという間に、利根川は増水してしまいました。今までに見たことのないような水位で、道路が海のようになつて、二わがったです。

たつた一時間でも、不量に雨がふると、あつという間に川の水位が増してしまふ。それなのに、日照りが続くと、今度は、あつという間に川の水位は減つて水不足になり、人々の生活に悪えいきやうを及ぼすことになる。水不足を起こさないために、これからは節水に協力していきなたいです。

櫻井 隆也〈千葉県野田市立二川小学校5年〉



川とすいかわりじけん
近藤 優菜
○私はまだおさなかつたころ、両親とその友達
の大人の人といっしょに川に遊びに行きまし
た。そこでではバーベキューや川遊びなどをし
てたくさん遊びました。私には弟がいて、弟も
いっしょに遊びました。私と弟のほかにも父
の友人の一人の子どもの男の子とも遊びまし
た。大人は大人でバーベキューで楽しんでい
ました。
しばらくあやんでいうともう一人友人がキ
ました。それも大きな大きなスイカをもてま
しばうくの間に私たち両親たちもスイカをど
う食べようかと考えていました。すると
「いっ、あ、スイカわりしちゃうぜ！」
と言いだしました。みんな
「いいねー」
「さんせいーい」
「やーたー」

とはい合、ていましてが父だけ
 っさっか。めんどうかい。
 と言、ていました。しかし、ほかの人がみん
 變成だ。たのでスイカわりになりました。
 さあ、ここからが問題です。スイカわりを
 ることは決ま、ただ、かんじんのわる、ほうが
 ありません。みんなど、さがしましたが、わり
 し、く、いしが見つか、りません。た、の、で
 け。き、く、だれかの意見、で大きな石、でた、く
 ことにしたので、す、まあ、わかれた、われない、で、言
 っ、たら、わ、れ、ま、し、た、。しか、し、形、は、ぐ、し、ぐ、し、
 す、な、み、た、い、な、い、。り、み、た、い、な、物、が、入、て、る、し
 お、ま、け、に、大、き、さ、も、は、ら、う、は、ら、。す、る、と
 「が、は、は、は、。は、ー、し、し、」
 と、スイカを、わ、た、人、が、大、笑、い、け、。き、よ、く、そ
 こ、は、ま、る、く、お、さ、ま、。た、の、で、す、が、い、ち、は、人、大、き
 い、く、を、食、べ、た、人、が、そ、の、日、の、夜、か、ら、お、な、か、が、い
 た、く、日、も、会、社、お、休、人、だ、そ、う、で、す、。な、ん、ど、そ
 イ、カ、を、食、べ、る、前、川、で、い、り、を、お、と、し、た、そ、う、で
 っ、。川、に、は、氣、を、付、け、た、方、が、い、い、で、す、ね、。

『川とすいかわりじけん』
近藤 優菜 (東京都足立区立長門小学校5年)

自然にふれられる川

四年 平尾 優奈

私は、川をいって、バーベキューをしたたり、川の中で水あそびをしたり、小魚をつかまえたりしたことがあります。川でやったことでは、四つほど思い出があります。

まず一つ目は、川へ来てから一番はじめに私のお父さんとお母さんとお父さんの友だちのお父さんとお母さんたちが、バーベキューのじやんびぎをして、いる間に友だちと石なげをした事です。石をなげると川の上でピョンピョンと、はねていたので、何回もやりました。また、友だちといっしょに大きな石でやると、「ばちゃん」。

と、すぐにしずんでしまいました。友だちは、「ああ。」

と言、て、おどろいていました。

二つ目は、バーベキューをした事です。川ぞいでするのは初めてでした。なぜか、川ぞいでや、ているバーベキューより、川をいってや

る方がとてもおいしく感じました。
三つ目は、川あそびです。女たちに水をは
けるよ。
「つめたい。」
と、言っていました。川の水は、本当につめ
たか、たです。
四つ目は、小魚を見つけて、小魚をつかま
えた事です。小魚を見つけて、「バーベキュー
でも、できていた、アラスタックのコップで
すく、てつかまえました。岩の間にいた、小
魚もつかまえるようにしたけれど、小魚は、と
てもすばやく動いていたので、け、きよくは
一びきしかつかまえられませんでした。小魚
をつかまえるのは、とてもむずかしかったで
す。
このように、川では、色々な事ができて、と
ても楽しいです。見たことのない自然の生き
物にふれる事もできます。今度は、行ったこ
とのない川に行つて、知らない生き物に、ふ
れてみたいのです。

『自然にふれられる川』
平尾 優奈（東京都足立区立長門小学校4年）



おいちゃん達と川で遊んだ思い出
 五年 田中 心裕
 川へ行。た思ひ出といえは一番、楽しか
 たのは熊本県のおじいちゃん達とみんなで行
 った、下田温泉の近くにある川で遊んだ時の
 ことです。
 そこでは、川でスイカをひやし、スイカを
 りをしたり、バーベキューもしました。なが
 りでも、よくバツな思ひ出は、つりをしてい
 る人達を見てうらやましいなと思つたねに、
 おじいちゃんがおちていた木でつりかおを作
 ってくれたことです。おじいちゃん、魚の
 えさに、リーゼージュをつけて二人でつりを
 するとすぐに魚達がつりさおにあつまりいつ
 まにか二十五匹も川魚がつれていました。
 みんなで川のほとりに石をつみかさね、天然
 の水をうを作り魚をいれるとお店でひかけるい
 けすのようでした。

かいる！と、いいうなぎのしかりも作りま
した。この目に、うなぎを見ることはできな
かたけれど、数日後にきし、太きうなぎ
かしがけたところにいるんだやないかな。
と、そう言うしてしまいます。今度、熊本
に行。た時には川へ行き、うなぎのしかりを
見に行きたいと思ひます。

おじいちゃんは、川でいらなことを、わ
たしに教えてくれました。まさか、つりさ
が作れるとは思ひませんでした。おじい
ちゃん、わたしに。て川の名人です。

『おじいちゃん達と川で遊んだ思い出』
田中 心裕（東京都足立区立長門小学校5年）

龍野 日記

○私はおとしや、去年の夏将すみ川に行きました。

大きな石がたくさんあり、すべ、てころんだこともあります。石をどけて川の流れをながれたり、岩の上でこはんを食べたりいろいろな楽しいことをしました。

遊んでいるとたくさんのお見がてきます。

鯉にとんぼがの、たり、自然が生きています。うでした。おたこもないうなぎもいました。流れの急なところは、いかに浅いという二つもあり、川はたくさんのお魚を数えてくれます。そのおかげで、お魚もたくさんいます。

私のお父さんは魚がいて、川をわがります。こつ水のためじゃなくお魚のこつです。お魚のこつを知ったとき、川はこわいなあと思いました。お魚なり、水害など、川のひがいはたくさんあります。川遊びができることは

平川で、つりをしたり、船遊びをしてゐる人を見かけます。私は「どんなにきたない川なのに、魚がいるのかふしきになります。つりをしているのて魚がいゐるにはな」と思ふので、鬼のために、私たちのためにも、自然のために、川にゴミをすてないで、きれいつがつてほしいです。
 今年も川にくて思ひます。そのときも川のことも考え、自然ともめじがなものとしたいです。川は、水だけじゃなく、石や岩、草でできた自然のかたまりといふことがわかりました。
 日本は自然の山や川が少い国です。私の好きな自然を大切に、きれいで平和な国になつてほしいです。近くの川、中川をきれいで、すてきな川になつてほしいです。

『夏の川遊び』
龍野 日桜（東京都足立区立長門小学校5年）



川との思ひ出

五坪 柳川 誠一郎

ぼくは、夏休めに栃木県のなすとというところにいきました。その宿にとまゐつたので、近くに川が流れていました。毎年、毎年ぼくはその川で遊んでいました。大きな石があるの、石をどかうつりてさるし、川の中にはじりりかくれいので、およくことができます。夏、いるのを釣りもできます。ぼくは、その川が大好きで、毎年遊びに。たう川で遊んでいました。しかし、毎年いくにつれて、川がよごれていくのをぼくは見ました。川が心配になつて宿の主人にきいてみると、川の上流からきたないものが少しづつながされていふとききました。なので、ぼくは少しして毛鷲なりをきれいにしたといひ思い、川のまわりにあるゴミを拾つていくようになりました。そうするとすこしずつきれいになっていきました。そして、今度は川の近くのバーベキュー

堀でハーベキューもしました。そのときはお
ラヌアケハもいたりして、ごはんもとってま
おいしく、あそんだので汗をいっぱいかきま
した。そのとき川に入ってまもちよくなつて
いると、こいう汗がよこれの原因になるん
たなちと思ひました。それいらいその川には
必ず宿のふろに入ってから入るようになりま
した。しかもそ、ちのちかまたいぢだんとま
もちいいし、川のためにもなるのでこいう
ことが大事な人になちと思ひました。ぼくは
しやうらいまたない川をきれいにするプロ
ジェクトの一員+自分のゆめをあかせも。た
人になりたいと思ひました。そうすることによ
って好きな川がすくおれると思ふと、も。と
も。とそうなりたいて思ふようになりまし
た。なので、しやうらいぼくはそいう人にな
りたいと思ひています。

『川との思い出』
横川 誠一郎（東京都足立区立長門小学校5年）



川の思ひ出

牧野 祐吾

○ぼくは、今まで社会の授業で川は、どんくものかを習いました。ぼくたちの家の近くに、中川が流れています。ぼくが、一番最初に、川はこれわいなあと思ったのは、ニュースでつなみを見たときでした。いつかは、ゆり舟が流れている川が、つなみで家などをこわした。いろいろなものがながれた。そして、ものを見ていて、ぼくたちの家の近くの、中川が毛し、台風などでつなみになった。どうすればいいのかなと思いました。家の二階までくぐりまわなれば、深く、くると、たてくさんの人が、ヘリコプターを必死によんで助けにきてをうていました。家のやねにものぼりて、おながをまいてるだろうし、まづ、かわいそうでした。なので、学校であるいかな訓練などで、つなみをうていして、おく上に、いくはと、それがすごく大事とい

うことがわかりました。
でも、いつかづなめというわけでは、あ
りません。ぼくが、お出かけに行つた時には
大川は、水が、丁を過、そして、まづいされ
いでした。魚が、氣持よく、さうに泳いでい
ました。その川は、淨水場、い、て今のきれ
な、水道水になつてゐるのです。時には、家
を、わしたりする川も、今では、ぼくたちの、役
に、立てゐるのです。いつも、手を洗う時に、
使う水も、昔は、川で、した。そう考えると、
な人が、いやな感じになつてゐるね。川は
おこつて家を、こわす時と、ぼくたちの生活、
助けてくれてゐる。このことを、わすれない、よう、に
いふ。川が、いつおこつて、家を、こわして
くるかは、わからない。のち、水や、食料を、用
意し、たい、た、方、か、い、と思ひますよ。ず、と川
が、ゆらゆら、流れ、て、くるのを、願、つて、い、ま
しょう。

『川の思い出』
牧野 祐吾（東京都足立区立長門小学校5年）



知の町の中川	移山	実録
私が使んでゐる道くには中川が流れていま す。大雨が降り、川の水が急に増えて洪水が おきてしまふ。たうやくの被害が出でしまふと 思ひます。このような災害がおきてしまふ。た うのむしよ。うの 山に大雨が連続的に降ることによつて、川の 上流から土砂をともとに大水が流れてきます。 そのときに洪水が一激起しやすといふ流れで います。このような水害が起こりやすい状態 になつたときのために、この中川周辺の町会 や自治会では、いつ誰が何をするのかという 日本難ダイムライン^①と云うのに取り組んで いるやうです。 もし洪水が起こりやうで、避難指示が出た 場合は、川の近くに住む人は自分の家の最上 階に行つて、風呂になう前に近くの鉄筋コンクリ ートの建物に避難することが大事故だといふこ		

とです
そして現在、洪水に強い堤防にうづためたに
島上工事をしていろいろ所が狭くあります。また
家庭でも被室を最小限にするための防災用品を
を常備しておくことが大切であります。この
ように研究会や自治会は避難指示をいっしょに
するのかわかるとの説明会を開き、一人でも何
くの人か水害対策を知って命を守ろうとして
くれることを願っています。
私は水害について詳しく知ろうと思ひ、故
郷のふに中川について教えてもらひまし
た。すると、思ひのほか以上に私たちが身を
中々ためにたまふまな水害対策について取り
組んでいたことに気がつきました。そして自
分でも家庭でできる簡便で便利な災害用品を
水害に備えてそろえておいたり、家族で話し
合つて避難場所を考へたりしようと改めて思
ひました。また、身近にある中川を危険な川
だけだと見せず、自然な恵と融れ合つて暮
らしていきたいと思います。

『私の町の中川』
形山 実結 〈東京都足立区立長門小学校6年〉

[illegible][illegible]

『矢切の渡し』
鬼澤 結花〈東京都足立区立長門小学校6年〉

流れ方窟ない川

白石 庄

「ねえ、もうつく？」

「うみ」にしていた川遊び。川遊びは、生まれ
て初めてだった。だが、つい親をせきたて
てしまふた。

ついで、ついでと、サンダルをはきながら
さそと入った。

「おくは流れが早いから氣をつけて。」おとす
へるからおい、ほんとに流されるよ。」

川に入っていないお母さんかざげんだ。流れ
が速くて毛平気だと思ひ、でしき、でい大快く
は、とんじんおくにいった。すると、急に転
んでしまった。流れに足をとられて、顔を石
にぶつけた。立って歩いてもとどろとしした。
しかし、石がすべるやうな。

はい、はい。

何度も転んだ。ぬれた。また、石にし
がみついた。そのとき、足が何かにくすぐら
れた。膝には、つりをしてゐる人しかいなか

い。でもたしかにさめられた。今度はずめい
何かがあった。もう一度ふり向くと、サン
タルが片っぱねげがけていた。右とそうとイ
をのびしたときに、サンタルは流れ口の、て
にげていった。当たった。お母さんの予言が
当たった。すべてその通りになったのだから
そして、サンタルはおきくらめや、このこと
降についた。少し笑われてしまつた。
このときのことを経験して、人の話を無視
しないことが大切だと思つた。なぜなら、自
分かそれとも知らないのに他人の知識を自分
の頭に入れておかないのは、かと同じで、た
たかある危機があるのにぬきさうやうなこ
だ。たから、初めてすること、危機なことを
するとともに、その状況のしかたを覚えること
が大切である。

『流れが危ない川』
白石 壮（東京都足立区立長門小学校6年）

川への思い	六年	當地	香奈
私の家の近くには、中川があります。そこ の土手では、花火が見えます。すごく良く見 えるので、中川は好きです。そこでぼた子に 水ホリドなどをやっている人がいます。私 にと、では、中川はきれいで、忘れられな い存在です。その川の中には、すべてがきれ いだとはいえません。そんな川をいつか助け あげたいです。	川は私たちにとって大切な物である気が します。朝に走っていたりしたので太陽の光 が川に映るすがすがしく目に残っています。 ところで、足立区の綾瀬駅の近くに綾瀬川 という川があります。綾瀬川は二〇〇四年と 二〇一〇年の調査で、日本一よれた川にな ってしまつたそうです。そこで、川をきれい にするために、私たちになにができるのか測 べてみました。	①食べ物、飲み物は必要な分だけ用意して	

① 水口に流さないようにする。
 ② 食器についた油や食べかすはふき取って
 から洗う。
 ③ 洗ざいは適量を守り、使いすぎないように
 する。
 ④ 油はかためて燃えるゴミとして捨てる。
 ⑤ このような小さなことの積み重ねが
 きれいな川や海を取りもどすための一歩にな
 ると思います。

『川への思い』
菊地 杏奈（東京都足立区立長門小学校6年）

川とのふれあい	大井川 横井川 愛	私の住んでいる家の近くには、中川という川が流れていきます。その中川のイメーシは、毎日妻ゆらず、ふつうに流れてくるので、川の近くに住んでいるからと、特に気にしたり、水遊びをしたりすることはありません。けれど、私のイメーシとはちがう川に行ったりすることがあります。埼玉県秩父市にある荒川の、中流の長瀬で私は、川下りをしたことがありません。その長瀬は、流水が速く、岩がこつこつしてしまいました。船の船頭さんが、所々ある変な形をした岩の説明を丁寧にしてくれました。特に印象に残っているのが、かめの形をした岩です。川の流水がどきどき、自然にけずり、どきることばすごいと思います。川下りには、思ふにふりも川の流水が速く、近くの岩に水があたり、パシパシと波のようになるので、船の両側いどにあるヒールルのものど水がかからないように防いだりと
---------	-----------	--

お父さんが救えてくれた、平らな石を擲げて遊ぶのにチャレンジしてみました。しかし、思つていた以上に難しく、上手にできませんでした。周りでは、急命服衣をつけて、川遊びをしている人もいました。次は、やつてみたいと思います。

帰る時に突然、雨がバケツをひっくり返したかのようにふつてきました。船頭さんたちがあめてて走っているのが見えました。その後、川の様子を見に行きましたが、ヤッきよりも流れが速くなっていると思います。空気がおいしく、自然と心れあふ、楽しい思い出ができたけれど、さっきはおだやかだった川が、雨により危険な川になっているといふことを考えると、川・自然と付き合うことは、大変なことなんだと、あらためてわかりました。けれど、自然は大切だから、川もきれいな方が気分も落ち付いて、いいと思います。

『川とのふれあい』
横井川 愛 (東京都足立区立長門小学校6年)

最後	豊吉	和姿
「夏休村が終つてしまふ！」と思つて、私はお父さんに、		
「川につれて、て。」		
と、たのんだ。なぜなら、私は川の思い出がないからだ。		
さ。そく、お父さんに川につれて、てもらふた。行。た日は、八月三十日。		
ます、中川橋をこんで、そのまま下り坂で		
おりました。そして、セブンを通り、線路をこえ		
る。大通りに出たら、左に行き、かめあり警		
察署を通り、すぐそこ、ゴフリ道を買つた。		
買。たのは、フリセ。トとエス(アオイリメ)を		
を買。て、川の準備をした。初めての一日目		
お父さんがなげた。		
「オチン！」		
と入。た。なんと、糸が切れて、しかけとエ		
サが落ちてしま。た。		
私は、しかけてんびんを買。てきて、土手		

てきてよかったです。	その時、ぐうぜん雷がふつてきた。いい思ひ出が	なげた。しほうちで待つてあきらめたその時、	へこれで最晩たよし。	しほうちと品った。そして、	つて、一匹ちのねていないたがう、どいう	果。た。そして、もう一匹いたけいじ。にげてし	る。カニがいた。写真をとろうとしたら、に	ていてもなかながつれなくて、すわていた	二回目、お父さんがなげで、しほうちで待	ニ匹つて、いり、びくりました。	土手の方へ野つた。その男の人達。うながさ	土手の方へつた。と男の人達に言われたから	土手の川岸で、た	の土の川岸で、た
------------	------------------------	-----------------------	------------	---------------	---------------------	------------------------	----------------------	---------------------	---------------------	-----------------	----------------------	----------------------	----------	----------

『最後の最後で!』
豊吉 和泰 (東京都足立区立長門小学校6年)



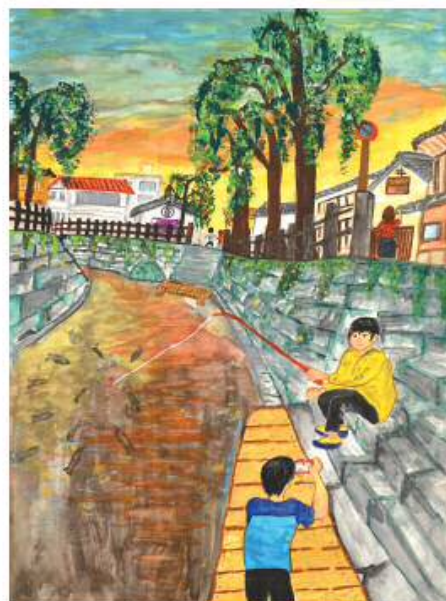
木村 蒼良
〈茨城県取手市立取手西小学校5年〉



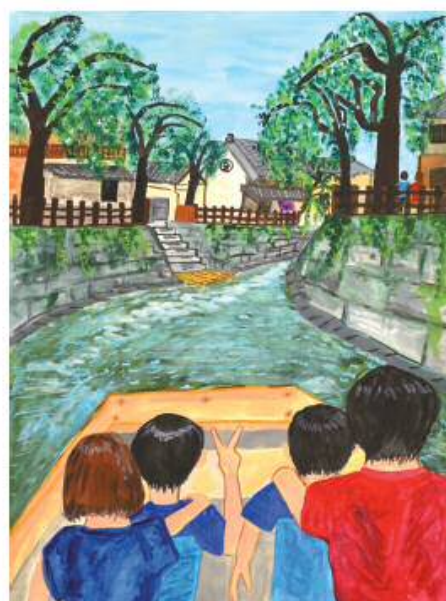
野口 貴悠 〈茨城県取手市立取手西小学校5年〉



『夕やけ時の利根川』
森岡 成美 〈埼玉県久喜市立栗橋小5年〉



『夕焼けが映る川』
青木 茉晴
〈埼玉県熊谷市立長井小学校5年〉



『楽しい川』
青木 蓮
〈埼玉県熊谷市立長井小学校5年〉



『鳥から見た風景・利根川』
杉山 優莉
〈茨城県守谷市立大井沢小学校4年〉



『ザリガニ見つけたよ』
鈴木 くるみ 〈栃木県栃木市立大平西小学校4年〉



『福川水門』
今村 梓沙 (埼玉県熊谷市立幸小学校4年)



『川と遊ぶ』
大熊 七菜 (埼玉県熊谷市立長井小学校5年)



『川をきれいにしよう』
小沼 龍翔 (埼玉県熊谷市立幸小学校5年)



『きれいな川』
茂木 奏美 (埼玉県熊谷市立長井小学校5年)



『わたしの大好きな刀水橋』
坂田 千夏 (埼玉県熊谷市立太田小学校5年)



『利根川あばれみこし』
眞部 成輝 (埼玉県熊谷市立幸小学校5年)



『出来島からの利根川』
森田 愛葵 (埼玉県熊谷市立太田小学校5年)



『利根川』
荻原 遥翔 (埼玉県熊谷市立太田小学校5年)



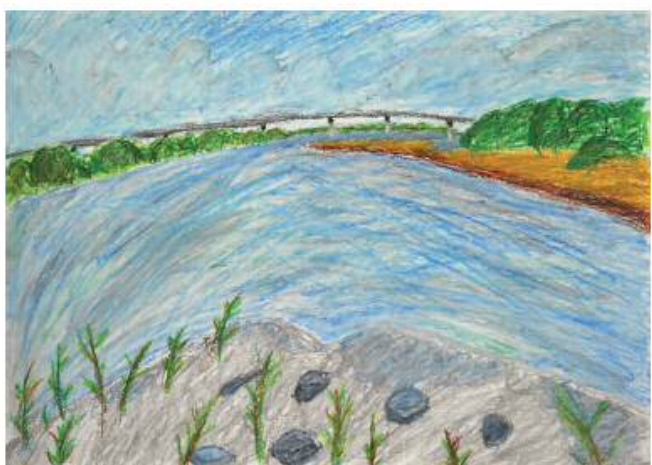
『みんなで楽しく川の調査』

木村 沙世 (埼玉県本庄市立藤田小学校5年)



『豊かな川で遊ぼう』

新井 誉悠 (埼玉県行田市立須加小学校5年)



『利根川』

青木 大実 (埼玉県久喜市立栗橋小5年)



『川の中のかくれんぼ』

小沼 龍弥 (埼玉県加須市立原道小学校5年)



『カスリン公園からの利根川!』

福田 圭吾 (埼玉県久喜市立栗橋小5年)



『緑と利根川』

荒井 里緒 (埼玉県久喜市立栗橋小5年)



『緑と利根川』

有賀 亮生 (埼玉県久喜市立栗橋小5年)



『川はともだち』

長井 敢大 (埼玉県熊谷市立栗小学校5年)



『川はともだち』

尾高 幸代 (埼玉県熊谷市立栗小学校5年)



『はじめての河川調査』

加藤 琉希 (埼玉県本庄市立藤田小学校5年)



『川と自然を守ろう』

吉田 汐里 (埼玉県熊谷市立栗小学校5年)



『河川調査』

中垣 結愛 (埼玉県本庄市立藤田小学校5年)



『河川調査の絵』

関根 綺璃羽 (埼玉県本庄市立藤田小学校5年)



『川をキレイに!』

山本 かれん (茨城県古河市立古河第五小学校5年)



『川で遊ばない!!』

青木 謙太 (茨城県古河市立古河第五小学校5年)



『川もきれいなら、魚もきれい』

清水 康生 (茨城県守谷市立郷州小学校6年)



『川をきれいに』

吉田 くるみ (茨城県古河市立古河第五小学校5年)



『利根川をきれいに』

内田 奈々美 (埼玉県熊谷市立栗小学校5年)



『川といっしょに』

氏原 柚貴 (埼玉県熊谷市立栗小学校5年)



『ぼくたちの利根川』

蓮田 晋吾
(千葉県我孫子市立我孫子第三小学校5年)



『とても元気な利根川の魚たち』

中村 豪希
(千葉県我孫子市立我孫子第三小学校5年)



『小山川』

松田 飛輝 (埼玉県本庄市立藤田小学校5年)



『河川調査』

中西 星奈 (埼玉県本庄市立藤田小学校5年)



『きれいな川の時代へ』

大野 優杏 (千葉県我孫子市立我孫子第三小学校5年)



『川の中の生き物たち』

石塚 大地 (千葉県我孫子市立我孫子第三小学校5年)



『川と石ころ』

須藤 智史 (千葉県我孫子市立我孫子第三小学校5年)



『川はいつも大切に』

小鷹狩 隆一郎 (千葉県我孫子市立我孫子第三小学校5年)